

個別施策

D2-1 ごみ排出量の削減とリサイクルを推進します

D2-2 廃棄物の適正処理と処理施設の整備を進めます

ア 施策の目的

市民・事業者・行政等、すべての主体が、ごみ減量・リサイクルに対する意識を高め、循環型社会の形成に取り組んでいる

イ 基本施策の評価

D b 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

| 指標名                          | 基準値<br>(時期)      | 区分 | H28 | H29    | H30    | R1    | R2    | R3    |       |
|------------------------------|------------------|----|-----|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| リサイクル率※1                     | 15.3%<br>(27年度)  | ↑  | 目標値 | 16.0   | 17.0   | 18.0  | 19.0  | 20.0  | 20.0  |
|                              |                  |    | 実績値 | 14.9   | 14.4   | 14.1  | 13.5  | 13.6  | 13.7  |
|                              |                  |    | 達成率 | 93.1%  | 84.7%  | 78.3% | 71.1% | 68.0% | 68.5% |
| ごみの1人1日当たりの排出量<br>※2【補助代替指標】 | 1,001g<br>(27年度) | ↓  | 目標値 | 990    | 980    | 970   | 960   | 950   | 950   |
|                              |                  |    | 実績値 | 977    | 974    | 973   | 971   | 968   | 951   |
|                              |                  |    | 達成率 | 101.3% | 100.6% | 99.7% | 98.9% | 98.1% | 99.9% |

※1 リサイクル率（資源化量+集団回収量等） / （ごみの総排出量+集団回収量等）

※2 ごみ減量に係る取組みを評価するため、補助代替指標として、ごみの1人1日当たりの排出量を記載する。

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

(1) ごみステーションは、場所によって設置の仕方が違うと思うので難しいかもしれないが、ごみステーション内にきちんと区切りがあるとか、収集や回収の曜日をはっきり分けるなど、出しているごみを見ながら学習するところもあると思うので、ごみの回収方法や行き先等について、市民にわかりやすい啓発活動に取り組んでほしい。

- (2) ごみの問題について、市民だけではなく、過剰包装をやめるなど、ごみの減量化に向けた事業者への指導にも取り組んでほしい。
- (3) リサイクル推進員の役割について、地域で出されたごみ分別の周知・啓発だけではなく、環境を守るという大きな視点で、「COOL CHOICE」や「地産地消」、「SDG s」の周知・啓発にも取り組んでいただければどうか。
- (4) 市ではフードドライブに取り組んでいると思うが、市民が提供した食品がその後どのようなになっているのかが、市民へフィードバックできるようになればさらにいいと思う。
- (5) ごみの分別について、D 2 の成果指標をみると、ごみの 1 人 1 日あたりの排出量は着実に減少しているが、リサイクル率は向上していない。これは、リサイクルに対する認識の低下が要因だと思うので、環境行動を実践する施策のなかで、ごみ分別の重要性やリサイクルに関する啓発的な教育や指導を行っていく必要があると思う。